福島市 シルバーだより

発行 No. 第136号
発行日　令和2年4月15日
発行人　川　浪　　廣　次
発行所　(公社)福島市
シルバー人材センター
福島市東浜町11-40
電話(024)531-2511

第２回スキルアップ研修会を開催しました！

２月17日(月)、今年で２回目となる入会３年目の会員を対象とした「スキルアップ研修会」を開催しました。

今回は平成29年度入会の会員を対象に、18名の方が参加されました。齋藤郁子キャリア・コンサルタントを講師に、コミュニケーションや身だしなみ、あいさつの重要性について講話があり、その後４班に分かれてのグループワークが行われました。

２つのテーマが出され、進行役を決めてグループ内でディスカッションをして答えを導き出すという手法で、ほとんどの方が初めて会う会員さんたちでしたが、テーマによって、なかなか白熱した討論があったり、笑い声が響いたりと、実りある研修会となりました。

＜新型コロナウイルスの影響について＞

新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されることから、当センターにおいても毎年3月の恒例行事である「安全就業研修会」や、3月、4月の「入会説明会」を中止といたしました。

安全就業研修会では、講師である歯科衛生士の永山直美先生と会場にて最終確認をし、宣伝広報や資料等も準備した中での苦渋の決断でした。

また、花見山に関する事業も大半が中止となり、トイレ清掃等の作業に携わる予定だった会員さんや、物産ひろばでの出店を楽しみにしていた会員さんからは無念の声が寄せられました。

この事態がどのように進展していくのか予断を許さないため、今後の事業は状況を見ながら判断していくことになりそうです。

令和元年度地区会議報告

福島１地区

福島２地区

福島東地区

福島西１地区

令和元年度地区会議は令和元年12月19日から令和２年１月27日にかけて全12地区で開催されました。はじめに理事長から元職員の不正行為についてのお詫びと報告・質疑があり、次に事務局から事業実施状況等の報告がありました。その後、地区班ごとに分かれての情報交換や就業相談となり、今までにない活気ある会議となりました。

出席率は昨年度よりも５％近く上がり約29％という結果となりましたが、まだまだ低い割合です。地区班の活性化がセンターの発展につながります。改めて「自主・自立」、「共働・共助」の基本理念を確認いただき、積極的にセンター事業に参画し、さらなる発展にご協力ください。

地区名	会員数（人）	出席者数（人）	率（%）	地区名	会員数（人）	出席者数（人）	率（%）
福島１	88	16	18.2	福島北２	102	31	30.4
福島２	85	26	30.6	福島南	119	40	33.6
福島東	79	15	19.0	福島蓬莱	63	18	28.6
福島西１	131	35	26.7	福島松川	57	21	36.8
福島西２	152	39	25.7	福島飯坂	74	25	33.8
福島北１	134	36	26.9	福島飯野	30	17	56.7
合　計					1,114	319	28.6

福島西２地区

福島北１地区

福島北２地区

福島南地区

会議に出された意見、質問の一部をご紹介

<不正行為について>

- 一人の者に任せっきりにしたことが、この事態を招いたのではないか。
- 帳簿を整備しただけでは再発防止にならない。職員の自覚が足りないのではないか。
- 監査の際に見つからなかったのか。一人に任せるのは不適切。改善すべきである。
- ゴミ袋以外の草刈刃等もしっかり管理してもらいたい。
- 就業先の社員の方から今回の報道を知らされ、肩身の狭い思いをした。
- 財務的なことは組織や人数に応じた改善が必要だと思う。

→皆さまの貴重な厳しいご意見を参考に、センターでは「不正行為再発防止対策委員会」を立ち上げ再発防止に鋭意取り組んでおります。委員会の詳細はP3をご覧ください。

<そ　の　他>

- 地区会議の情報交換は大変有意義だった。地域の仲間と会い懇談できてうれしかった。
- 地区会議の開催を土曜日などにしてほしい。
- 女性会員の就業機会の確保をお願いしたい。
- 事務所に入ったときに声をかけてもらえない。励みになるので声をかけてほしい。

福島蓬莱地区

福島松川地区

福島飯坂地区

福島飯野地区

不正行為再発防止に向けて

元職員の不正行為を受け、各関係機関から指導、立入検査がありました。１月31日に税務署による指導。２月７日に福島労働局による経理事務指導と、福島県公益認定等審議会による臨時立入検査。３月５日には全国シルバー人材センター事業協会による特別指導を受けました。

また、佐藤貴洋弁護士を委員長に、第三者を交え９名で構成された「不正行為再発防止対策委員会」を立ち上げ、２月26日から３月31日の間、計４回の委員会を開催しました。委員会では物品の管理方法、不正行為防止のための意識高揚、組織体制の見直しについての答申が出されました。

今後はこの答申を受け、理事会で協議を進め、再発防止に取り組む所存です。役職員一同、意を新たに初心に返り、業務に励んでいきますので、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

就業基準単価改定のお知らせ

近年、最低賃金が大幅に増額していることから、令和２年４月より就業基準単価を改定しました。基準となる配分金は１時間あたり 878円となり、発注者へはさらに10%の事務費を加算して請求（就業単価）することになります。

意識を持って更なるスキルアップに努め、“対価以上の仕事”で、発注者に喜ばれ信頼され続けるセンターにしてまいりましょう。

令和２年４月就業分より改定します。
なお、職種によって異なりますので、詳細は事務局にお尋ねください。

〈配分金（就業単価）/ 時〉

792円（871円）/時

↓

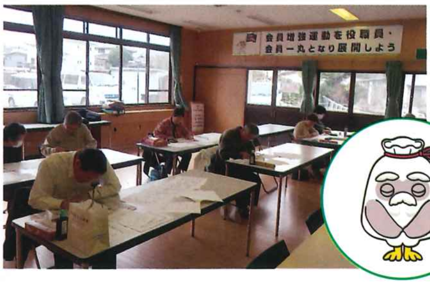
878円（965円）/時

事業レポート（主な行事）

毛筆班研修会

2月14日　於：シルバー人材センター多目的ホール

毛筆班では技術向上を図るため、研修会を重ねています。９名が参加し、例年２月から３月に集中して依頼がある卒業証書の部分書きの練習を行いました。



また、毛筆班に興味のある方、推薦したい方は事務局へ情報提供をお願いします。

会員の健康意識の向上を願って

～令和元年度 健診結果提出の報告～

令和元年度の健診結果の提出率は過去“ワーストワン”の「7.4%」です。（82名／ 1,102名）

安全就業を持続するには…

↓

健康維持が基本です。

↓

いつまでも、健康でいるためには？

↓

自分の体を知ることが、大切（第一）です。

↓

それなら、“健診受診”が近道です。

↓

自分の体を知らないままでいると、就業に限らず日常生活でも、仲間や家族に迷惑等をかけることにも…

↓

結果…

↓

仲間とはセンターのことでもありますから…
センター全体の信頼低下に繋がってしまいます。

↓

年に一度の健診受診により、安心・安全でみんなが笑顔！

結果提出にも、ご協力ください。

福島市シルバー人材センター安全標語「気をつけて！　仲間の一言　事故ふせぐ」

事務局からのお知らせ

令和2年度定時総会のご案内

令和2年度定時総会は令和2年6月23日(火)に、とうほう・みんなの文化センターで開催を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、現在、開催方法等を検討しております。

開催2週間前までには開催方法の通知をはじめ、議案書等の関係書類を各会員へ配付いたします。この不測の事態を乗り越えるためには、会員・役職員が総力を結集するとともに、今まで以上に会員の皆さまのご協力が必要になると思われますので、よろしくお願いいたします。

配分金支払日

4月分▶ 5月29日(金)
5月分▶ 6月30日(火)
6月分▶ 7月31日(金)
7月分▶ 8月31日(月)

※配分金明細書をご希望の方は事務局に声をかけてください。

上半期入会説明会(毎月第2火曜日)

「1会員新規会員1名確保運動」展開中です。下記日程で入会説明会(午後1時30分開会)を開催予定です。

~~4月14日~~ 中止、5月12日、6月9日

7月14日、8月11日、9月8日

※新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されることから、4月開催は中止としました。5月以降も状況を見極めて判断するようになります。お知り合いに入会希望の方がいる場合は、事務局にお問い合わせくださるよう申し添えください。

会員の「声」を募集しています！

仕事の体験談はもちろん、特技、趣味、旅行記や就業時においてのヒヤリ・ハット体験談など、なんでも構いませんので、みなさまの「声」をお寄せください。随時受付しております！

(事務局担当：川口、河野、二階堂)

訃　報

原田　則夫 様　(78歳)大 森 B
大高　　剛 様　(80歳)泉　 A
阿部　俊幸 様　(64歳)佐　 倉

人事異動

4月1日付をもって嘱託職員になりました。会員の皆さんよろしくお願いします。

島　由美子　(旧：臨時職員)

編集後記

閉塞感が漂う昨今ですが、明るい話題もありました。

古関裕而を描いたNHKの朝ドラ「エール」が、先月末から放映され多くの市民の方々が元気づけられたり、また、県のシルバー人材センター連合会が作成したTVコマーシャル「生きがい・友達作り・地域貢献を求めている方は是非お近くのセンターへご連絡ください」という、とってもわかりやすい内容で、シルバー人材センターのイメージアップや、今後の会員増等に大きな効果があると期待されます。

これから、段々と気候もよくなっていきますので、健康に留意し、会員一同スクラムを組んで「ワンチーム」で頑張っていきましょう。

(山内)

編集：広報委員会　委員長：小澤和枝　副委員長：吾妻雄二　委員：山内芳夫、斎　一昭